

統計調査ニュース

令和3年（2021年）12月

No.421



統計150年，統計研究研修所100年を記念して ～一貫して変わらない大切なものがあります～

総務省統計局統計高度利用特別研究官 佐伯 修司

（はじめに）

2021年（令和3年）は、総務省統計局の前身組織である政表課が太政官正院に置かれたとされる1871年（明治4年）から150年目に当たる記念すべき年です。また、国勢院第一部に統計研究研修所の前身組織である統計職員養成所が設置された1921年（大正10年）から100年目に当たる節目の年でもあります。この機会に公的統計（以下、単に「統計」）の150年そして未来を貫く大切なことについて考えてみたいと思います。

（統計の重要性）

150年の間には、統計を担う組織、作成する統計、統計に関する法制、統計の提供の方法、統計の信頼性などについて、本当に様々なことが起きました。もちろん、社会経済も大きく変化しました。しかし、この間途切れることなく様々な統計が作り続けられてきたのには、大きな理由があります。それを端的に表しているのが、以下に掲げる、1881年（明治14年）に大隈重信が統計院の設立について行った建議の一節です。

「現在ノ国勢ヲ詳明セザレバ、

政府則チ施政ノ便ヲ失フ。過去施政ノ結果ヲ鑑照セザレバ、政府其政策ノ利弊ヲ知ルニ由ナシ。（中略）現在ノ国勢ヲ一目ニ明瞭ナラシムル者ハ統計ニ若クハナシ。又現在ノ国勢ヲ以テ之ヲ既往ニ比較シ、過去施政ノ得失ヲ証明スル者ハ亦タ統計ニ若クハナシ。」

また、大隈は内閣総理大臣として1916年（大正5年）に内閣訓令（「統計ノ進歩改善ニ関スル件」）を制定していますが、統計が学術研究の基礎であることに言及しています。

時代は下って、2007年（平成19年）の統計法の全面改正により、第1条において「公的統計が国民にとって合理的な意思決定を行うための基盤となる重要な情報である」ことが確認されました。統計が行政にとってのみならず、民間企業、学術研究機関など社会の構成員全てにとってなくてはならない、重要なものであることを示しています。

（国勢調査実施の歴史的意義）

統計調査実施の観点からは、昨年100年を迎えた国勢調査の実施が最大の出来事だと思います。第1回

国勢調査は1920年（大正9年）に行われました。それまでも戸籍に基づく人口統計は作成されていましたが、全ての人が統計調査の当事者となる国勢調査が社会全体に与えたインパクトは計り知れないものがあったと思います。その後も5年に1回の調査が続けられ、統計の重要性の認識が上書きされ、統計調査の実施環境が厳しくなる中でも多くの調査を続けることができていく礎が形作られてきたと考えます。

（統計人材の育成）

第1回国勢調査の実施の前後に、統計職員の養成のための取組が精力的に行われました。その一環として第1回国勢調査の翌年には統計職員養成所が国勢院第一部に設置され、中央地方各部で統計に従事する職員の養成が図られました。その後の多くの新しい統計調査の実施の重要な原動力となっています。

統計人材育成の重要性は、明治初期から今日に至るまで多くの統計関係者が強調してきました。国・地方を通じた統計人材育成に100年にわたって大きな役割を果たしてきた統計研究研修所の今後への期待は、ますます高まっていると考えます。

目次

統計150年，統計研究研修所100年を記念して ～一貫して変わらない大切なものがあります～	1	第6回「地方公共団体における統計データ活用表彰」 の受賞団体の決定	6
令和2年国勢調査 人口等基本集計結果の概要	2	日本統計年鑑の御紹介	7
第69回統計グラフ全国コンクール入賞作品決定	4	令和3年度統計データアナライズセミナーを開催しました	8
		とうけい通信®	9

令和2年国勢調査 人口等基本集計結果の概要

令和2年国勢調査 人口等基本集計結果を令和3年11月30日に公表しました。その概要を紹介します。

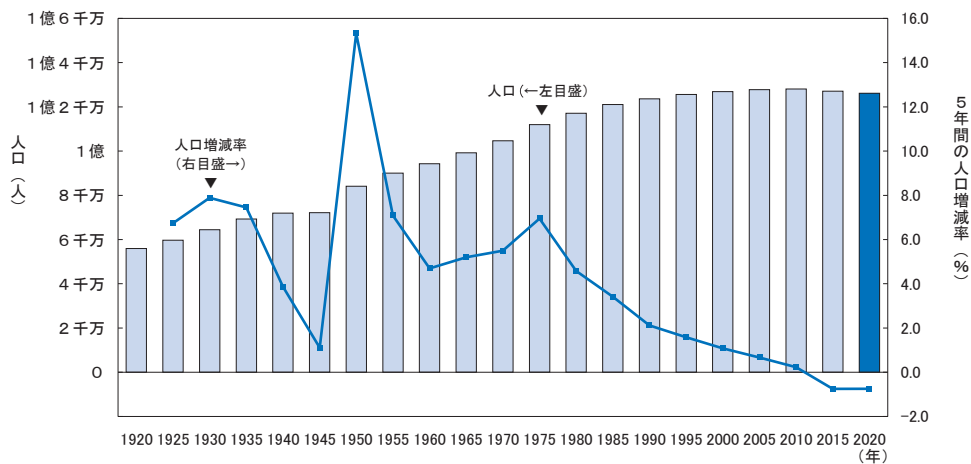
我が国の人口は1億2614万6千人（2020年（令和2年）10月1日現在）、2015年から94万9千人減少（0.7%減、年平均0.15%減）と前回調査に引き続き人口減少

2020年10月1日現在における我が国の人口は1億2614万6千人となっており、2015年に比べ、人口は94万9千人減少しています。

5年ごとの人口増減率の推移をみると、1945年～1950年はいわゆる第1次ベビーブーム等により15.3%と高い増加率となりましたが、その後は出生率の低下に伴って増加幅が縮小し、1955年～1960年には4.7%となりました。

その後、第2次ベビーブームにより、1970年～1975年には7.0%と増加幅が拡大したものの、1975年～1980年には4.6%と増加幅が再び縮小に転じました。2010年～2015年には0.8%減と、1920年の調査開始以来、初めての人口減少となり、2015年～2020年には0.7%減（年平均0.15%減）と引き続き人口減少となっています。（図1）

図1 人口及び人口増減率の推移（1920年～2020年）

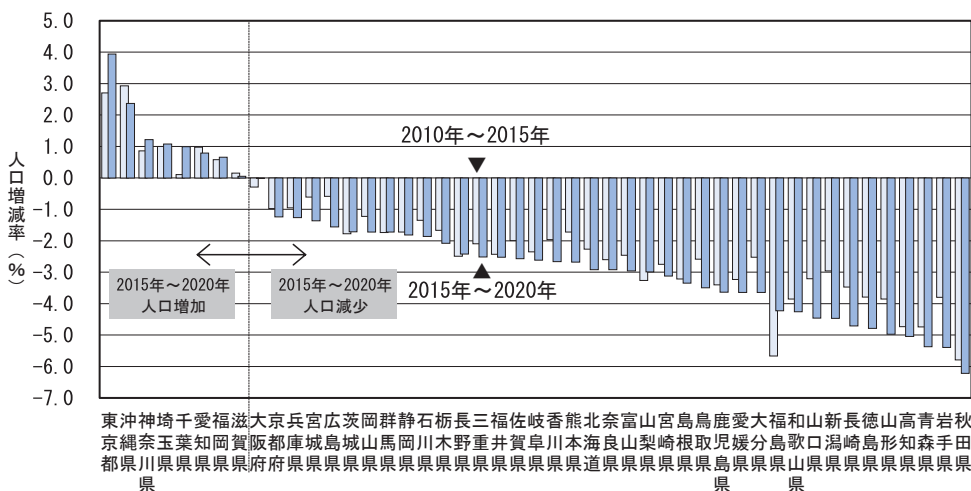


人口が最も多いのは東京都で1404万8千人。東京圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）の人口は3691万4千人で、全国の人口の約3割を占める

人口を都道府県別にみると、東京都が1404万8千人と最も多く、東京圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）の人口は3691万4千人で、全国の約3割（29.3%）を占めています。

また、東京都、神奈川県、埼玉県など8都県で人口増加となっており、人口増加率をみると、東京都が3.9%と最も高く、次いで沖縄県（2.4%）、神奈川県（1.2%）などとなっています。（図2）

図2 都道府県別人口増減率（2010年～2015年、2015年～2020年）



総人口に占める65歳以上人口の割合は26.6%から28.6%に上昇

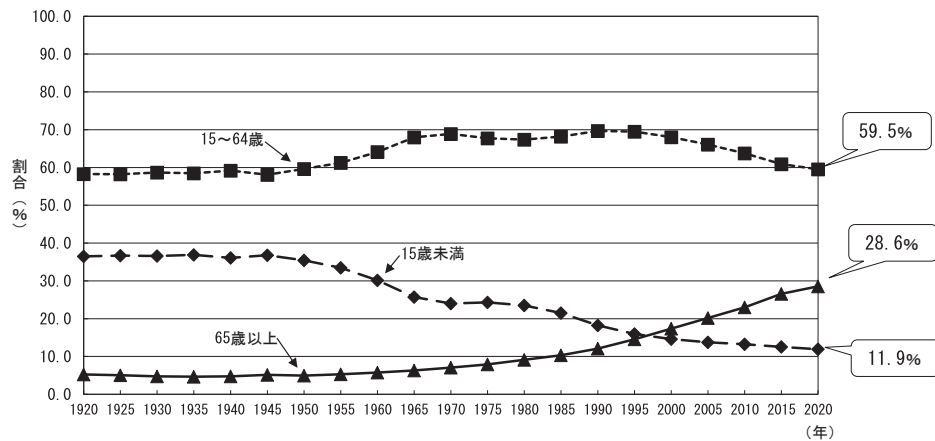
総人口を年齢3区分別にみると、15歳未満人口は1503万2千人、15～64歳人口は7508万8千人、65歳以上人口は3602万7千人となっています。

総人口に占める割合を2015年と比べると、15歳未満人口は12.6%から11.9%に低下し、過去最低となっており、65歳以上人口は26.6%から28.6%に上昇し、過去最高となっています。(図3)

なお、諸外国と比べると、我が国の15歳未満人口の割合は韓国(12.5%)及びイタリア(13.0%)よりも低く、世界で最も低い水準となっています。

また、我が国の65歳以上人口の割合はイタリア(23.3%)及びドイツ(21.7%)よりも高く、世界で最も高い水準となっています。

図3 年齢(3区分)別人口の割合の推移(1920年～2020年)



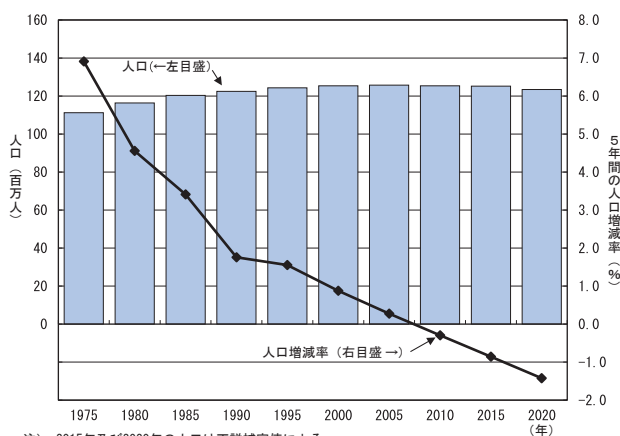
注) 2015年及び2020年は不詳補完値により算出。2010年以前は分母から不詳を除いて算出

日本人人口は1億2339万9千人(2015年から1.4%減、年平均0.29%減)。外国人人口は274万7千人(2015年から43.6%増、年平均7.51%増)

総人口(1億2614万6千人)のうち日本人人口は1億2339万9千人(総人口の97.8%)、外国人人口は274万7千人(2.2%)となっています。

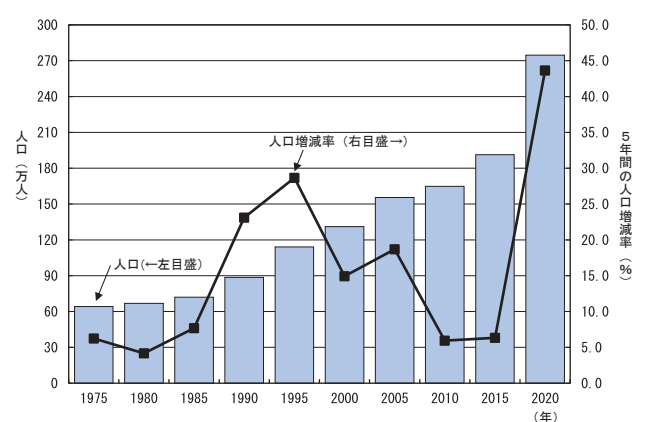
2015年と比べると、日本人人口は178万3千人減少(2015年から1.4%減、年平均0.29%減)し、2015年に引き続き減少となっています。(図4)一方、外国人人口は83万5千人増加(2015年から43.6%増、年平均7.51%増)し、増加が続いています。(図5)

図4 日本人人口及び日本人人口増減率の推移(1975年～2020年)



注) 2015年及び2020年の人口は不詳補完値による。なお、2020年の人口増減率は不詳補完値により、2015年以前の人口増減率は原数値により算出

図5 外国人人口及び外国人人口増減率の推移(1975年～2020年)



注) 2015年及び2020年の人口は不詳補完値による。なお、2020年の人口増減率は不詳補完値により、2015年以前の人口増減率は原数値により算出

令和2年国勢調査への御回答、ありがとうございました。詳しい結果は次のURLからダウンロードできます。

URL <https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/kekka.html>

第69回統計グラフ全国コンクール入賞作品決定

総務大臣賞は、愛媛県 一般 小倉 祥子さんの作品 どうなるの？日本の空き家問題

【統計グラフ全国コンクール】

統計グラフ全国コンクールは、国民の皆さんに、統計グラフの作成を通じて、日常生活の中で統計を利用することの有用性を知っていただくとともに、統計調査への理解を深めていただくことを目的に、昭和28年から実施されています。(公財)統計情報研究開発センターが主催する第69回統計グラフ全国コンクールは、総務省、文部科学省等の関係機関が後援及び協賛し、実施されました。

【審査経過】

第69回目を迎える本年度は、全6部門に、全国の小・

中学生から一般の方々まで、計22,429作品に及ぶ多くの応募があり、各都道府県の統計グラフコンクールを兼ねた第1次審査、総務省職員等による第2次審査を経た後、統計グラフ全国コンクール最終審査会(審査委員長:渡辺美智子立正大学データサイエンス学部教授)において、部門別の特選6作品が決定されました。

さらに、各部の特選作品から、「総務大臣賞」、「文部科学大臣賞」、「日本統計学会会長賞」、「日本品質管理学会賞」、「金丸三郎賞」及び「石橋信夫賞」を決定しました。

令和3年度 総務大臣賞及び文部科学大臣賞

【総務大臣賞】

どうなるの？日本の空き家問題

(第5部(高等学校以上の生徒、学生及び一般)特選作品)

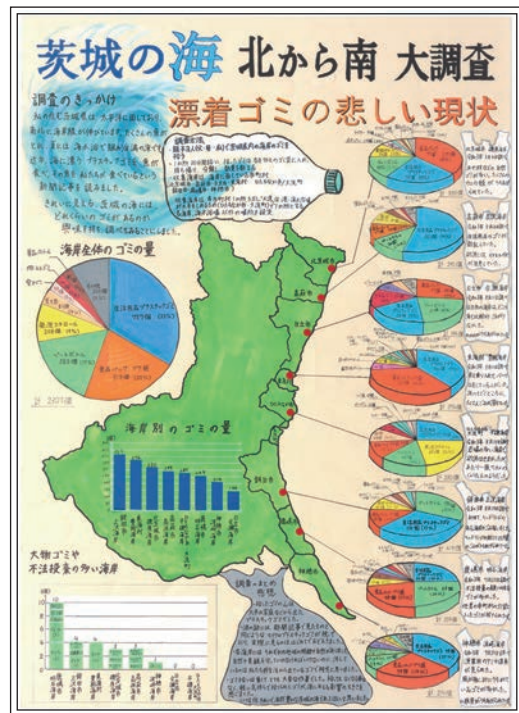


愛媛県 一般 小倉 祥子さん

【文部科学大臣賞】

茨城の海 北から南 大調査 漂着ゴミの悲しい現状

(第3部(小学校5・6年生の児童)特選作品)



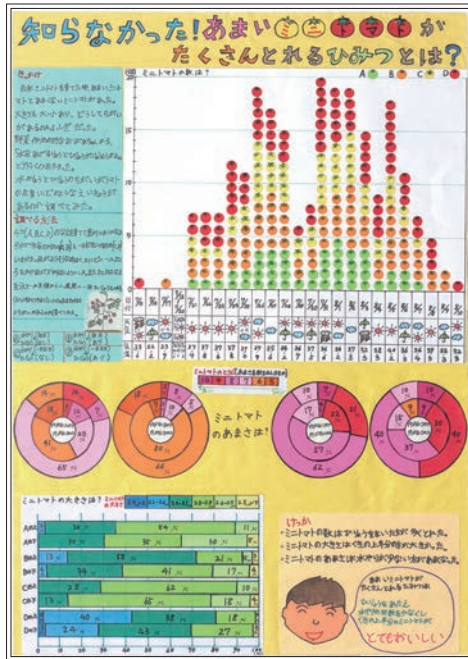
茨城県ひたちなか市立高野小学校6年
 粕谷 佳愛さん

特別賞受賞作品

【日本統計学会会長賞】

知らなかった!あまいミニトマトがたくさんとれるひみつとは?

[第2部(小学校3・4年生の児童)特選作品]

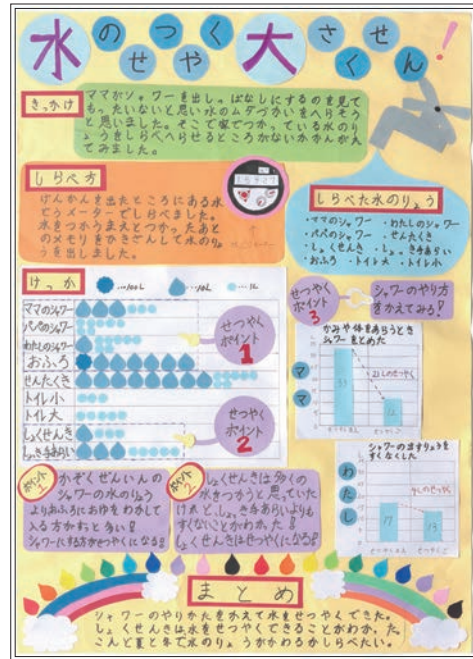


京都府京都市立安井小学校3年
井上 蒼思さん

【日本品質管理学会賞】

水のせつやく大きくせん!

[第1部(小学校1・2年生の児童)特選作品]

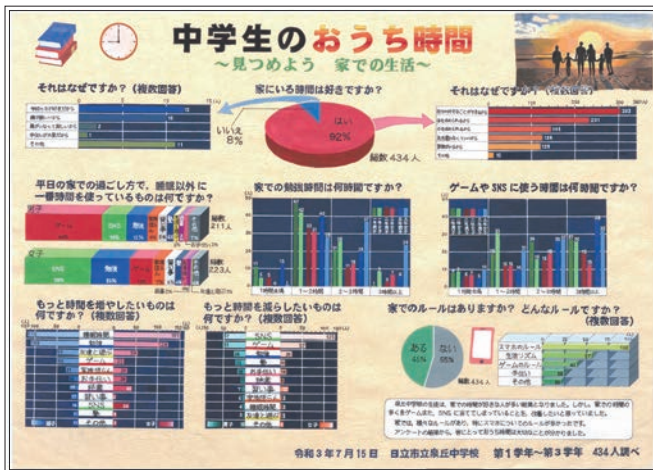


兵庫県神戸市立こうべ小学校2年
浅井 玲さん

【金丸三郎賞】

中学生のおうち時間~見つめよう 家での生活~

[第4部(中学校の生徒)特選作品]



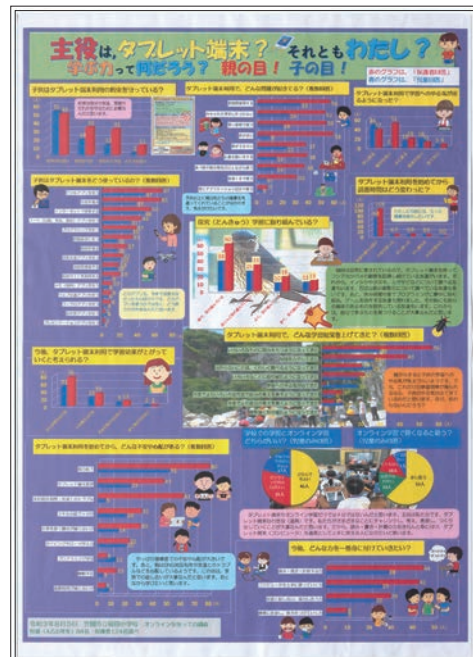
茨城県日立市立泉丘中学校2年
菅野 真桜さん
二階堂 桐子さん

【石橋信夫賞】

主役は、タブレット端末?それとも わたし?

学ぶ力って何だろう?親の目!子の目!

[パソコン統計グラフの部(小学校の児童以上)特選作品]



茨城県笠間市立福田小学校4年
加佐見 彩花さん, 篠田 華央さん
塚野 凜香さん, 富田 愛華羽さん

日本統計年鑑の御紹介

総務省統計局では、「第七十一回 日本統計年鑑(令和4年)」を刊行しました。

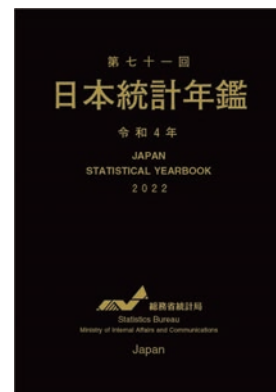
また、当刊行物以外にも、統計局を始め各府省や国内外の機関が実施した統計調査の結果や業務報告などに基づく統計情報を総合統計書として編集・刊行していますので紹介します。

「日本統計年鑑」は、我が国の官公庁や民間調査機関などが実施又は作成している統計調査、業務統計及び加工統計から、国土、人口、経済、社会、文化などの広範な分野にわたる基本的な統計を、網羅的かつ体系的に収録したものです。

本書は、明治5年刊行の「辛未政表(しんびせいひょう)」を起源として、明治15年の創刊以来59回に及んだ「日本帝国統計年鑑」の流れをくむものであり、第二次世界大戦の影響で一時期刊行を停止した後、昭和24年から「日本統計年鑑」として新たに刊行を始め、その後、毎年刊行してきました。

第七十一回は、30の分野及び542の統計表からなり、各章の冒頭では、統計の資料源、調査方法などについても解説しています。

国勢を総覧する総合統計書として是非御利用ください。



日本統計年鑑

「日本統計年鑑」のほかに、次の総合報告書を刊行しています。



日本の統計

我が国の基本的な統計を手軽に利用しやすく編集したものです。



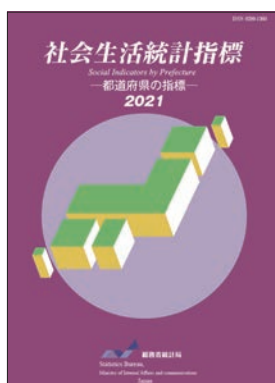
世界の統計

世界各国の実情や世界における我が国の位置付けを知るための参考となる様々な統計を編集したものです。



Statistical Handbook of Japan

統計を通じ、我が国の最近の実情をグラフや写真を交えて英文で紹介したものです。



社会生活統計指標—都道府県の指標—

社会・人口統計体系において整備した基礎データを用いて作成している統計指標の中から、都道府県別の主要なデータを取りまとめたものです。



統計でみる都道府県のすがた

社会生活統計指標—都道府県の指標—の中から、主な指標値を選定し、各都道府県の指標が一覧できるように再編成したものです。



統計でみる市区町村のすがた

社会・人口統計体系で収集したデータのうち市区町村別の主要な基礎データを一覧できるよう取りまとめたものです。

刊行している総合統計書は、統計局ホームページにも掲載していますので御覧ください。

<https://www.stat.go.jp/data/sougou/index.html>

令和3年度統計データアナライズセミナーを開催しました

総務省政策統括官（統計制度担当）室では、都道府県統計主管課の職員を対象に、統計分析手法を習得していただき、公的統計データ等の分析結果に基づく地域における政策立案に資することを目的に、毎年度、統計データアナライズセミナーを実施しています。

今回は、10月に統計研究研修所と共催して実施したセミナーの概要を紹介します。

1. セミナーの概要

令和3年度統計データアナライズセミナーは、令和3年10月26日（火）に、43名の各都道府県における統計主管課職員の方々に御参加いただき開催しました。

例年、本セミナーは、各都道府県から受講生の皆様に、東京都会場にお集まりいただき開催しています。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、令和2年度に引き続き、3年度についても、Web会議ツールを活用した、全面オンラインによるセミナーを開催しました。

また、本セミナーの開催に当たっては、統計研究研修所及び株式会社富士通ラーニングメディアの御協力をいただきました。

2. セミナーの様子

午前の部

○講義Ⅰ：「ビジネスにおける統計学の重要性」

（講師：株式会社富士通ラーニングメディア

前田 真太郎氏）

前田講師より、近年、ビジネスや行政の場において、統計学に基づいた分析の重要性が高まっている状況を踏まえつつ、統計学の基本について御説明いただきました。また、実際に分析を行うに当たって必要な統計ツールやスキル等について、具体的に解説いただきました。

受講者からは、「統計の考え方や基礎的な言葉についても丁寧に解説していただき、初学者にも分かりやすい内容だった」といった声が聞かれました。

○講義Ⅱ：「ビジネス上での分析の流れ」

（講師：株式会社富士通ラーニングメディア

前田 真太郎氏）

前田講師より、「記述統計や推測統計を活用した仮説立案→データの収集・加工→分析」といった、ビジネス上でのデータ分析の各ステップについて御説明いただきました。

データ加工のステップにて、欠損値や外れ値の扱い等について御説明いただいたほか、分析のステップでは、受講者自身でExcelを操作して、サンプルデータについて、実際に相関分析や回帰分析を行う場面もありました。

受講者からは、「データ分析のプロセスの中で、適切なデータを探し集める作業に時間と手間が掛かることに気付かされた」、「実践的ですがすぐに業務に使える内容だったため、大変勉強になった」といった声が聞かれました。

午後の部

○演習：ケーススタディー

午後の演習では、9つのグループに分かれ、午前中の講義で学習したデータ分析のステップに沿いながら、実際に課題解決のためのケーススタディーに取り組んでいただきました。仮説立案では、各受講生が考えた仮説について、グループ内で積極的な意見交換をする様子が見られました。

受講者からは、「自ら仮説を設定し、様々なデータに当たり、仮説を検証するという一連の流れを経験することができ、大変充実していた」といった声が聞かれました。

3. セミナーを終えて

実施後のアンケートでは、講義Ⅰ、Ⅱ、演習のそれぞれについて、「6.大いに満足」「5.満足」「4.やや満足」「3.やや不満」「2.不満」「1.大いに不満」の選択肢の中から、講義及び演習の内容を評価していただきました。

表 受講者アンケート結果

Q 講義・演習の内容（課目の必要性）はいかがでしたか？

区分	講義Ⅰ	講義Ⅱ	演習
評価平均	5.18	5.20	4.72

注 受講者43名全員回答

その結果、講義Ⅰ、Ⅱ、演習のそれぞれについて、好評をいただくことができました。

一方で、オンライン形式でのグループ演習は、コミュニケーションが取りづらい、他の参加者がどんな分析をしているのかが見えづらいなどの御意見もあり、今後の課題として挙げられます。

そのほか、アンケートでいただいた御意見・御要望についても、今後の本セミナーの企画や運営においていかしてまいりたいと思います。

今回の受講者の方々には、公的統計データ等を駆使した地域分析によって、地方の課題を明確にし、課題解決のための仮説を制作部局に提供するという、政策立案の流れを作っていただくことが期待されています。本セミナーが受講者の方々にとって少しでも有意義なものになりましたら幸いです。

受講者の方々におかれましては、御参加いただき、誠にありがとうございました。この場を借りて御礼申し上げます。

とうけい通信 18

「水戸」と言えば納豆!?

水戸市市長公室情報政策課

◇水戸市の紹介

人口総数 270,685人 世帯数 122,598世帯
 男 132,537人 面積 217.32km²
 女 138,418人
 (令和2年10月1日現在)
 出典: 令和2年国勢調査



日本三名園・偕楽園の梅

水戸市は、古くから要衝の地にあり、徳川の世に、御三家の一つである水戸徳川家の城下町として繁栄し、以来、県都として、行政、文化等の都市機能を集積しながら大きく発展してきました。

1889(明治22)年4月1日に、他の全国30市とともに日本で最初の市制を施行し、平成31年に施行130周年を迎え、令和2年4月1日には全国で59番目の中核市となりました。市街のほぼ中央には、第9代水戸藩主徳川斉昭公によって造園された日本三名園の一つである偕楽園や千波湖を中心とした大規模な公園・緑地が広がり、本市の誇る豊かな自然景観を形づくっています。

◇水戸黄門まつり(花火イベントなど)開催!

毎年、7月下旬から8月の始めに、「水戸黄門まつり」が開催されます。千波湖を会場に行われる花火発数約7,000発の水戸偕楽園花火大会や、多くの神輿と山車が中心市街地を練り歩く様子は圧巻で、水戸の夏を彩る名物です。



水戸黄門まつり

しかし、令和3年は、令和2年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大のためにお祭りが中止となりました。そのため、オンラインを活用した「みんなで作るRemote水戸黄門まつり」を開催し、今年新たに撮影した演技や演奏をメインとした映像作品を特設サイトで公開することで「新しい生活様式」に対応したお祭りが行われました。

◇水戸で有名な納豆から

これまで大切に受継がれてきた食文化の一つ「水戸納豆」。1889年の水戸鉄道開通によって、駅前広場で土産物として納豆を販売したところ、観光客に大人気となり、全国に「水戸納豆」の名が広がっていきました。

納豆の1世帯当たりの年間支出金額(平成30年~令和2年)

1位	2位	3位	全国平均
福島市 6,773円	盛岡市 6,497円	水戸市 6,353円	4,375円

出典: 家計調査(二人以上の世帯) 品目別都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング



水戸納豆早食い世界大会

また、7月10日の「納豆の日」には、納豆を食べる速度を競う「水戸納豆早食い世界大会」、納豆をおいしく食べるレシピの募集など、市内外の方に「水戸納豆」をより親しんでもらうための取組も行っています。

◇水戸の名物といえば? 納豆だけじゃない!

本市は、山や海にも近く、一級河川的那珂川や酒沼川が流れ、郊外は田園風景が広がります。県内は、農業、漁業、畜産業とも盛んで、おいしい新鮮な食材が手に入ります。あんこう、うなぎ、しじみ、常陸牛、メロン、りんご、コシヒカリ・・・もちろん地酒もあります。

ここでは、地元民なら知っているお品からいくつかを御紹介いたします。水戸にお越しの際は、味わってみてはいかがでしょうか。

- ・水戸藩らーめん…レンコンを練りこんだ麺を、滋養強壮に効果のある、ショウガ、ニラ、ニンニク、ネギ、ラッキョウ、五つの薬味で。具はチャーシュー、シイタケ、タケノコ等。医食同源を奨励した水戸の黄門様である徳川光圀公も召し上がっていたものを再現したものです。
- ・スタミナ冷やしラーメン…冷やし麺に熱々甘辛あんかけのスタミナ冷やしラーメン。具はカボチャ、キャベツ、ニンジン、レバー入り。麺が温かいスープに入った、ホットもあります。
- ・ねばり丼…ご飯の上に、納豆、オクラ、とろろ、なめこなど粘るもの盛りだくさん。栄養満点です。



水戸藩らーめん



スタミナ冷やしラーメン

最後に、コロナ禍で静寂の続いた水戸のまちでしたが、火災や空襲で焼失した水戸城址のうち、令和2年に大手門が、そして令和3年は二の丸角櫓へのアプローチが完成し、皆様にその美しい姿を間近に観ていただけるようになりました。水戸の顔である水戸城址は、現存する水戸藩の藩校である弘道館とともに、その歴史を感じられる活気ある姿を見せ、新しい時代の一步を踏み出したところです。

今後は、市の歴史と伝統、豊かな自然など、水戸ならではの個性を育み、まちの魅力を高めるとともに、中核市移行により拡大される保健衛生、福祉等の分野における権限を生かして、保健所関係許可・届出情報などの新たなデータの活用など、本市の実情に反映させた特色ある施策を展開することにより、きめ細かなサービスの提供をしていきます。

最近の数字

		人口		労働・賃金			産業		家計(二人以上の世帯)		物価	
		総人口 (推計による人口)	就業者数	完全失業率 (季節調整値)	現金給与総額 (規模5人以上)	鉱工業 生産指数 (季節調整値)	サービス産業 の月間売上高	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数		
		千人(Pは万人)	万人	%	円	2015=100	兆円	円	円	2020=100	東京都区部 2020=100	
実数	2021. 6	125,285	6692	2.9	442,821	99.6	29.9	260,285	724,719	99.5	99.5	
	7	P 12536	6711	2.8	371,141	98.1	P 29.7	267,710	538,529	99.7	99.8	
	8	P 12530	6693	2.8	274,671	94.6	P 28.8	266,638	452,559	99.7	99.8	
	9	P 12521	6679	2.8	269,932	89.5	P 30.7	265,306	389,944	100.1	100.1	
	10	P 12512	6659	2.7	P 271,023	P 90.5	...	281,996	458,643	99.9	99.9	
	11	P 12507	P 100.0	
前年同月比	2021. 6	-	0.3	* -0.1	0.1	* 6.5	3.2	-4.3	-13.6	-0.5	-0.5	
	7	-	0.8	* -0.1	0.6	* -1.5	P 2.5	0.7	-3.7	-0.3	-0.4	
	8	-	0.3	* 0.0	0.6	* -3.6	P 0.3	-3.0	4.2	-0.4	-0.4	
	9	-	-0.1	* 0.0	0.2	* -5.4	P -1.0	-1.9	2.2	0.2	0.3	
	10	-	-0.5	* -0.1	P 0.2	*P 1.1	-	-0.6	0.5	0.1	0.1	
	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(注) P：速報値 *：対前月
家計(二人以上の世帯)の前年同月比は実質値

掲示板 統計関係の主要日程 (2021年12月～2022年1月)

《会議及び研修関係等》

時期	概要	時期	概要
12月13日	分野別研修マイクロデータコース「マイクロデータ分析のためのプログラミング-統計解析ソフトRの利用方法-」【WEB開催】(～14日)	1月17日	分野別研修人口統計コース「人口推計」【集合開催】(～21日)
20日	分野別研修政策立案・評価・データ活用コース「政策立案と統計」【集合・WEB開催】(～22日)	24日	オンライン統計研修【第4回】統計取扱業務担当職員向け研修「初めて学ぶ統計」開講(～2月18日)
23日	分野別研修政策立案・評価・データ活用コース「政策評価と統計」【集合・WEB開催】(～24日)	〃	オンライン統計研修【第4回】政策立案・評価・データ活用コース「データサイエンス入門」開講(～2月18日)
		〃	オンライン統計研修【第4回】統計取扱業務担当職員向け研修「統計担当者向け入門」開講(～3月4日)
		27日	分野別研修政策立案・評価・データ活用コース「ビッグデータ活用-基礎から応用まで-」【集合・WEB開催】(～28日)
		31日	オンライン統計研修【第4回】政策立案・評価・データ活用コース「データサイエンス演習」開講(～2月25日)
		〃	オンライン統計研修【第4回】統計作成実務コース「統計データのできるまで-統計的推測の基礎①-」開講(～2月25日)

《調査結果の公表関係》

時期	概要	時期	概要
12月3日	小売物価統計調査(ガソリン) 2021年11月分公表	1月14日	小売物価統計調査(ガソリン) 2021年12月分公表
7日	家計調査(家計収支編:2021年10月分)公表	20日	人口推計(2021年8月1日現在確定値及び2022年1月1日現在概算値)公表
〃	家計消費状況調査(支出関連項目:2021年10月分)公表	21日	消費者物価指数(全国:2021年12月分及び2021年平均)公表
〃	消費動向指数(CTI) 2021年10月分公表	〃	小売物価統計調査(全国:2021年12月分)公表
14日	2019年全国家計構造調査(準調査世帯に関する結果)公表	28日	家計調査(貯蓄・負債編:2021年7～9月期平均)公表
17日	2021年科学技術研究調査結果公表	〃	消費者物価指数(東京都区部:2022年1月分(中旬速報値))公表
20日	人口推計(2021年7月1日現在確定値及び2021年12月1日現在概算値)公表	〃	小売物価統計調査(東京都区部:2022年1月分)公表
23日	住民基本台帳人口移動報告(2021年11月分)公表	31日	サービス産業動向調査(2021年11月分速報及び2021年8月分確報)公表
24日	消費者物価指数(全国:2021年11月分)公表	下旬	住民基本台帳人口移動報告(2021年12月分)公表
〃	小売物価統計調査(全国:2021年11月分)公表	〃	住民基本台帳人口移動報告(2021年結果)公表
28日	労働力調査(基本集計) 2021年11月分公表		
〃	サービス産業動向調査(2021年10月分速報及び2021年7月分確報)公表		
31日	統計トピックス 「寅年生まれ」と「新成人」の人口-令和4年新年にちなんで-公表		
1月7日	家計調査(家計収支編:2021年11月分)公表		
〃	家計消費状況調査(支出関連項目:2021年11月分)公表		
〃	消費動向指数(CTI) 2021年11月分公表		
〃	消費者物価指数(東京都区部:2021年12月分(中旬速報値)及び2021年平均(速報値))公表		
〃	小売物価統計調査(東京都区部:2021年12月分)公表		

編集発行 **総務省統計局**

〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1

総務省統計局 統計情報利用推進課 情報提供第一係

TEL 03-5273-1160 E-mail y-teikyoul@soumu.go.jp

ホームページ <https://www.stat.go.jp/>

御意見・御感想をお待ちしております。